

市立病院だより



～ 新年のご挨拶 ～ 病院管理者 武富 章

明けましておめでとうございます。昨年中、当院に賜りました数々のご厚情とご支援に対しまして、職員一同心より御礼申し上げます。

当院の目標は、地域に密着した良質な医療をさらに高いレベルで提供することにあります。そして、進行する少子高齢化、地域における病院の機能分化を見据えつつ、病院は運営されなければなりません。そのためには、ハード面、ソフト面ともさらに充実させなければなりません。

ハード面では、本年春には病院増改築に着手し、2014年12月には第1期工事として8階建て免震構造の新本館が完成する予定です。1・2階には外来・救急・検査部門を集約し、マルチスライスCT（MDCT）、MRIなどを最新機器に更新します。3階には手術室、4～8階には各階50床計250床の病室を配置します。このうち50床は回復期リハビリテーション病棟として、在宅復帰へ向けての集中的なりハビリテーションを行います。病棟は1病床に8平方メートル以上の面積を確保し、患者さんのアメニティの向上を図っています。新本館の完成後には東棟を改修し事務部門・管理部門を整備し、2016年3月までには駐車場や外構等を整備することでグランドオープンとなります。

ソフト面では、今後さらに診療体制を充実させ専門性の高い急性期病院を目指します。その手始めとして、本年1月から胸部疾患センターを設置しました。呼吸器内科、呼吸器外科、乳腺外科の協力体制を強化することにより、増加している肺がんや乳がんに対する専門的診療・低侵襲手術を一人でも多くの患者の皆様を提供したいと考えています。

中高年層の多い地域密着型の病院ですので、合併症の多い患者さまが安心して安全で高度な医療を受けていただけるには各科医師の連携はもちろん看護師をはじめ、すべての医療スタッフのチームワークが必要です。職員全体が、患者の皆様を主体に考え、良質な医療を提供するためにスタッフ一人ひとりが役割と責任を自覚して努力していきます。

患者の皆様や地域住民や開業医の先生方からのご意見を真摯に受け止め、全職員が良質な医療を提供できるように努力していきます。今年も、いっそうのご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

2013（平成25）年1月



ノロウイルス感染症

内科部長 出口 智弘

この冬、ノロウイルス感染症が日本全国で流行り、宮崎県や横浜の病院で亡くなられた方もいることは新聞などで報道され記憶に新しいところです。数年前は生牡蠣を食べた後の嘔吐下痢はノロウイルスが原因と言われていました。

それではノロウイルスとはどのようなウイルスなのでしょう？歴史を見てみると1968年アメリカのオハイオ州ノーウォークと言う町の小学校で集団発生した急性胃腸炎の患者の糞からウイルスが検出されノーウォークウイルスと呼ばれ、その後小型球形ウイルスと呼ばれ2002年に正式にノロウイルスと呼ばれるようになりました。

冬季に発生する嘔吐下痢など所謂感染性胃腸炎の原因にはノロウイルスのほかロタウイルス、腸管アデノウイルスもあります。ノロウイルス感染の潜伏期間は24-48時間で、主症状は吐気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱、これらの症状が1-2日続いた後症状は軽快しますが、糞便中には1ヶ月近くウイルスが排出されることもあります。

治療は点滴などの対症療法で、有効な抗ウイルス剤はありません。特に乳幼児や高齢者は脱水症状来たしたり体力を消耗しやすいので十分な補液が必要でしょう。又宮崎や横浜の病院では不幸にも亡くなられた方がいますが、ノロウイルスが直接的な原因ではありませんが、何れも御高齢の方で吐物の誤嚥による誤嚥性肺炎が原因と報道されていました。

ノロウイルスを含めた感染症には感染予防が大切です。特にノロウイルス感染症は手洗い、うがいを行い、感染しないように予防し、そして感染者が発生した時は、吐物や糞便の消毒、さらにトイレやドアノブなどの消毒を行い感染を拡げないようにすることも必要でしょう。消毒には次亜塩素酸ナトリウムを用います。家庭ではハイターなどを50倍程度に薄めて使うのが推奨されます。ノロウイルスは85度以上、1分間以上の加熱で失活します。流行時期には加熱し生ものは食べないようにすることも予防になります。

まだまだ寒い日が続きます。ノロウイルスも含めて感染症には手洗い、うがいを励行して予防に努めましょう。



離島病院支援を経験して

医療技術部長兼臨床検査室長 田代 敬徳

当院検査室は、沖縄県の公立久米島病院からの応援要請を受け9月から11月まで3名の臨床検査技師（各1ヶ月間）が勤務する事となり離島医療の現状を経験することとなりました。

皆さんは久米島が何処にあるかご存知ですか。名前は聞いたことがあるが場所までは良く知らない方が多いのではないのでしょうか。

久米島は、沖縄本島那覇市の西方100Kmの東シナ海に位置し、人口約8600人、平均気温は22.7度で暖かくきれいな海に囲まれた離島です。主な産業は農業（9割以上がサトウキビ栽培）、漁業、観光などで「日本の渚百選」に選ばれたイーフォービーチやハテノ浜など美しい海浜を見ることが出来ます。

久米島の医療環境は歯科医院と診療所がそれぞれ2軒と島内で唯一入院設備のある公立久米島病院だけです。急患の殆どは久米島病院が対応しています。

久米島病院はH24年4月から地域医療振興協会が運営するようになりましたが医師、看護師などの職員不足は深刻です。病院には手術室設備があるのですがスタッフ不足の為、手術は行なわれず本島で手術しなければなりません。

又、重症の患者さんは応急処置をし、本島からのドクターヘリか自衛隊のヘリで運んで治療を行なっています。医療技術職は検査技師だけが2名で放射線技師、臨床工学士、理学療法士、薬剤師は各1名で急患の呼び出しにも対応しています。

現在、数名の看護師は他の協会病院からの応援ですが今後は職員の確保と診療内容の充実を図り沖縄県の離島医療をリードするような病院にしていきたいと語られる内科医師をはじめ職員全員が離島医療に情熱と使命感を持って一生懸命働かれています姿に感銘を受けました。

今回、離島の病院での勤務を経験し、へき地医療の問題や苦労を体験するとともにその重要性についても感じる事が出来ました。又、全国にある地域医療振興協会の病院が協力し助け合う体制のすばらしさを実感し、今後も益々充実することを願い報告を終わります。





BLS (Basic Life Support)

内科医師 林 豪毅

明けましておめでとうございます。内科の林と申します。毎日寒い日が続いておりますが、みなさま体調を崩されたりはしていませんか？

さて、当院では昨年末に新人看護師さんを対象にBLS講習というものをご案内いただきました。BLSとは、一次救命処置のことです。要は、『道ばたで人が倒れています。さあまずはどうする？』ということに関して定められた、一つのプロトコルのようなものです。

このBLSには胸骨圧迫（心臓マッサージ）と人工呼吸による心肺蘇生、AED（自動体外式除細動機）が含まれます。今回の講習ではBLSの概要、一般的な流れ、そして実際のそれぞれのやり方について説明をした後、人形を使って演習をしました。

心肺停止状態においては早期発見・早期対応が基本となり、この対応が遅いと分単位で救命率はぐっと下がってしまいます。ですから、医療従事者のみならず一般の方においても、こういった状況での正しい対応を理解しておくことで、救える命はたくさんあると思います。院内でも今後、一般の方を対象にそういった講習ができればいいですね。



リフレッシュ研修

飯塚市立病院の看護師は、同期の仲間とエンカウンターを用いた研修・バーベキュー大会を行うことで、お互いの成長を認識し、心身をリフレッシュする事で、親睦を深め、連帯感や協調を育む場とし、今後の看護にいかすため、リフレッシュ研修を行っています。

リフレッシュ研修に参加した新人看護師の感想を一部、ご紹介します。

東3病棟看護師 永岡 彩也加

4月に新人として入社し、約7ヶ月が経ちましたが卒業した学校、入社した時期、勤務病棟等が異なる事から、関わりの少ない同期がいたり互いの現状も知らない状態でした。今回、そんな同期の仲間とお互いの成長を知り、心身をリフレッシュしながら親睦を深め、連帯感や協調性を育み今後の看護に活かす事を目的に

リフレッシュ研修に臨みました。

午前中のエンカウンターを用いた研修では、各項目を通して同期だけではなく、看護部長・師長・主任とも自然に交流を図る事が出来たと同時に、互いに自己開示をする事で、相手の新たなる部分、意外な部分を知る事のできる機会にもなりました。相手の事を聞き、知る事で、話を聞く時の表情・姿勢のあり方やコミュニケーションの回り方も学べ、また、相手の事を知り思いを共有することで、親近感が湧きました。エンカウンターを用いた研修の中でも、最も印象に残っているのは、グループに分かれて1人1枚ずつ画用紙をもらい、真中に自分の夢・目標を書きグループ中に回し、各個人がその人がその夢・目標を達成するために自分はどんな事をしてあげられるかコメントを書くという項目です。コメントを書く時、”相手がそれを達成するため、成就させるために自分はどんな事をしてあげられるか”と相手を思いやる気持ちを持つ事ができ、また他者が自分のためにくれたコメントが凄く嬉しくて、今後のはげみに繋がりました。ありがとうございます。

その後のバーベキューやリンゴ狩りでは、午前中の研修のおかげもあり他病棟の同期とも協働したりコミュニケーションを図る事ができました。

最後に、この研修を開催するにあたり、多忙な勤務の中貴重な時間をさき、私たち新人のためにと考慮・準備して下さった看護部長・師長・主任をはじめとする皆様に深く感謝いたします。今回の研修での学びを今後活かせるよう頑張り、同期を大切にしたいと思います。本当に、ありがとうございました。



飯塚市立病院外来担当表

2013年1月1日現在

診療科	受付時間	診察室	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
内科	午前 8:20-11:30	1	派遣医師	(新患)園田 知丈	派遣医師			当直医1名 以外に 交代で1名 (計2名)
		2	園田 知丈	辻 隆宏			福岡 道雄	
		3	(新患)山口 健也	武富 章	武富 章	(新患)山口 健也	(新患)林 豪毅	
		4	鍵山 裕	鍵山 裕	派遣医師	鍵山 裕	辻 隆宏	
		5	古賀 康秀	循環器専門医	山口 健也	循環器専門医	古賀 康秀	
		6	林 豪毅	西島 慎二	(新患)辻 隆宏	林 豪毅	西島 慎二	
		7	出口 智弘	古賀 康秀	園田 知丈	出口 智弘		
		8		中島 信治(塵肺)				
小児科	午前 8:20-11:30	1	牟田 広実	牟田 広実		牟田 広実	牟田 広実	
	午後 14:30-16:00	1	牟田 広実	牟田 広実		牟田 広実	牟田 広実	
外科	午前 8:20-11:30	1			今村 真大			交代で1名
		2	後藤 祐一	後藤 祐一	岡部 正之	兒玉 孝仁	岡部 正之	
		3	福富 章悟	吉田 純	吉田 純	吉田 純	福富 章悟	
整形外科	午前 8:20-11:30	1	藤澤 基之	藤澤 基之	派遣医師(第1,3,5週) (手の外科一般外来)	藤澤 基之	舌間 寛士	
		2				舌間 寛士	石井 聡大	
		3	吉田 拓也	吉田 拓也	吉田 拓也(第4週)	石井 聡大		
	午後 13:00-14:30	1					派遣医師(第2,4週) (脊椎・脊髄外来)	
		2	田丸 幸一	田丸 幸一			田丸 幸一	
		3	吉田 拓也	吉田 拓也				
脳神経外科	午前 8:20-11:30	1					派遣医師	
	午後 14:00-16:00	1	派遣医師					
胸部外科	午前 8:20-11:30	1			川原 克信	徳石 恵太		
	午後 13:00-15:30	1				山下 眞一 (乳腺専門外来)		
皮膚科	午前 8:20-11:30	1	市川 竜太郎	市川 竜太郎	市川 竜太郎	市川 竜太郎	市川 竜太郎	
		2	米永 悦子	米永 悦子	米永 悦子	米永 悦子	米永 悦子	
泌尿器科	午後 13:30-15:30	1				多田 勝(第1,2,4,5週)		
眼科	午前 8:20-11:30	1	山下 美恵	山下 美恵	山下 美恵	山下 美恵(第1,3,5週)	山下 美恵	
		2	西尾 陽子		西尾 陽子	西尾 陽子	西尾 陽子	
		3	佐藤 渉	佐藤 渉	佐藤 渉	佐藤 渉		
耳鼻咽喉科	午前 8:20-11:30	1		派遣医師		派遣医師	派遣医師	
	2	朝信 輝樹	朝信 輝樹	朝信 輝樹	朝信 輝樹	朝信 輝樹		
リハ科	午前 8:20-11:30	2	朝信 輝樹		朝信 輝樹		朝信 輝樹	
		1	村田 和弘	村田 和弘	村田 和弘	武富 章	村田 和弘	

※医師の予定は、都合により変更があります。(ご不明な点は各科診療窓口へご確認ください。)

※小児科の午後診察は、市の健診や予防接種に出務のため不在の場合がありますので、事前にお電話でお問い合わせ下さい。

※整形外科(水曜日のみ)の初診患者様の受付は、8:20-10:30です。毎月第2水曜日は整形外科が休診となります。

※休診日：土曜日午後・日曜日・祝日・12月29日～1月3日(年末・年始のため)

※面会時間：月～金曜日/13:00～19:00、土・日・祝日/11:00～19:00

※毎月第1水曜日の眼科 西尾医師の診察は休診となります。但し、第1水曜日が祝日の場合は、第2水曜日が休診となります。

■看護師募集(新卒・中途)

雇用形態：正職員

※詳細は、0948-22-2980

(内線422)総務課

宮崎までご連絡ください。

飯塚市立病院は“優しい心、深い知識、確かな技術”をもって患者様本位のあたたかい医療を提供し、市民の皆様へ愛され親しまれ、信頼される病院をめざしています。看護師としてあなたも一緒に参加しませんか?

看護部 平田 ひろみ看護部長

■基本方針

- 1.すべてのスタッフによるチームケアをより一層推進する。
- 2.地元医師会および他の医療機関との緊密な連携を保ち、市民が安心して受診できる医療体制づくりを進める。
- 3.救急医療から慢性疾患のフォローアップまで幅広い診療を実践できる体制を整える。
- 4.へき地支援病院として、医療過疎に悩む地域への医療支援を行う。
- 5.臨床研修指定病院として、地域医療をめざす医師のために質の高い基礎教育を行う。

■基本理念

“優しい心、深い知識、確かな技術”をもって、患者様本位のあたたかい医療を提供し、市民の皆様へ愛され、親しまれ、信頼される病院をめざします。



公益社団法人 地域医療振興協会
Japan Association for Development of Community Medicine

飯塚市立病院

〒820-0088 飯塚市弁分633-1

TEL:0948-22-2980 FAX:0948-24-3812

HP:<http://www.jadecom.or.jp/jadecomhp/iizuka/html/>

